

あなたに伝えたい

被害者支援センターやまなしだより

第29号

平成30年3月



事務所を移転しました。

当センターの事務局が、平成30年3月5日に移転しました。

新所在地 甲府市丸の内2丁目28-15 キクヤビル101

電話番号 055 (228) 8639 ※以前と同じ。

地図は4ページをご覧ください。



支援センターやまなしシンボルマーク



山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人

被害者支援センターやまなし

活 動 報 告

当センターの平成29年度、10月以降の活動を紹介します。

■犯罪被害者支援講演会を開催



平成29年11月29日、山梨県立図書館2階多目的ホールで、フォトジャーナリストの大藪順子^{のぶこ}氏を講師に、「立ち上がる選択～被害者が生きやすい社会を目指して～」と題した犯罪被害者支援講演会を開催しました。

また、11月27日から30日まで、甲府市役所1階市民プラザと県立図書館交流ルームで、大藪氏の写真展を開きました。

大藪氏は、アメリカの新聞社で働いていた1999年、自宅で性暴力被害に遭い、その後、心身の混乱状態と向き合う中で、性暴力の被害者を撮影するプロジェクトを始めました。大藪氏は、「多くの性暴力被害者は自己否定して苦しんでいる。つらい思いをしながら、『そのままの姿で生きていい』とメッセージを送り続けている。性暴力がタブー視され社会が無関心であることに問題がある」と訴えました。



■大藪順子写真展を同時開催

大藪順子氏の写真展「プロジェクトSTAND ～性暴力サバイバー達の素顔～」を犯罪被害者支援講演会に合わせ開催しました。約20点の写真作品それぞれに解説がつけられ、訪れた観覧者の胸を打っていました。

■命の大切さを学ぶ授業

県警犯罪被害者支援室と協働して、県内の中高生を対象に犯罪被害者遺族による講演会を開催しました。聴講した多くの生徒や保護者から感想をいただきました。来年度も継続して行きたいと思います。



テレビでも放映された、帝京第三高での授業の様子



警察庁犯罪被害者支援室主催の「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」の受賞者がこのほど発表され、高校生の部で県立都留高校3年の山本悠希さん(写真)が文部科学大臣賞を受賞しました。

■研修・講座

センターの相談員や支援員は、研修や講座等を受講して個人のスキルアップを図り、支援の質の向上を目指しています。

- 支援員継続研修・育成講座(毎月1回開催)
- 事例検討会(毎月1回開催)



「命の大切さを学ぶ授業」の平成29年度後半の開催

- 11月4日 山梨英和中
- 11月24日 帝京第三高校
- 12月21日 甲府工業高校
- 2月21日 富士学苑中
- 3月15日 甲府北中
- 3月22日 甲府城西高校

被害者支援の日

JR甲府駅前・ペDESTリアンデッキ

10月3日、被害者支援センターやまなしの他、山梨県、山梨県警察本部、甲府警察署、学生ボランティアの皆さんが、駅利用者や通行人に被害者支援に対する理解と協力を呼びかけました。



県民の日

小瀬スポーツ公園

11月18日、19日の両日、小瀬スポーツ公園で開催された県民の日イベント会場で県警犯罪被害者支援室と協働して、来場者に被害者支援への理解と協力を求める活動を行いました。



お昼のミニコンサート

JR甲府駅ペDESTリアンデッキ

毎月、第3木曜日に県警音楽隊が開催するお昼のミニコンサートに合わせ、来場者や駅利用者に対し被害者支援への理解と協力を求めました。



県警ふれあいコンサート

コラニー文化ホール

11月25日、コラニー文化ホールで開催された、県警音楽隊によるふれあいコンサート入場者に対して被害者支援への理解と協力を求めました。



ご協力をお願いします。

クリックで

センターホームページから ワンクリック募金ができます!

センターホームページ上から、バナー広告による「ワンクリック募金」を始めました。閲覧者がセンター HP の協賛企業・団体のバナーをクリックし、リンク先のHPを閲覧することにより、1回当たり10円がセンターに寄付されます。企業・団体からの寄付は1ヵ月当たり上限2,000円としています。ご協力をいただく協賛企業・団体のHPを閲覧できることから、協賛企業・団体の広報につながります。

